

西南学院早緑子供の園
西南学院舞鶴幼稚園
西南学院小学校
西南学院中学校・高等学校
西南学院大学
西南学院大学大学院
西南学院大学法科大学院

2016(平成28)年度 学校法人 西南学院 事業計画書

一粒の麦から、次の100年に向かって



 西南学院

建学の精神

“Seinan, Be True to Christ”

西南よ、キリストに忠実なれ

西南学院は1916（大正5）年、米国南部バプテスト派の宣教師C. K. ドージャーによって創立されました。創立者の遺訓“Seinan, Be True to Christ”（西南よ、キリストに忠実なれ）は、建学の精神として受け継がれ、現在もキリスト教を基盤とした独自の教育を実践しながら、キリスト教的人間観、世界観に立ち、奉仕の精神をもって社会に貢献する人を送り続けています。

西南学院の使命

学校法人西南学院は、「キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて真理の探求及び優れた人格の形成に励み、地域社会及び国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする。

Mission Statement

of

Seinan Gakuin Educational Foundation

Seinan Gakuin, an educational institution endeavoring to be true to Christ in the pursuit of truth in academic affairs and excellence in character development, strives to equip and nurture students to serve as creative and constructive leaders in local communities and in an expanding global society.

目 次

はじめに	1
I. 学校法人西南学院事業計画	3
II. 西南学院早緑子供の園事業計画	7
III. 西南学院舞鶴幼稚園事業計画	13
IV. 西南学院小学校事業計画	15
V. 西南学院中学校事業計画	20
VI. 西南学院高等学校事業計画	26
VII. 西南学院大学事業計画	32
VIII. 西南学院大学大学院事業計画	47
IX. 西南学院大学法科大学院事業計画	50

はじめに

1916年、福岡市大名町にて教職員9人、生徒104人からスタートした「私立西南学院」が、現在の学校法人西南学院(以下、「学院」という。)の母体である。

1921年には旧専門学校令による高等学部を開設し、1940年、西南保姆学院を開設。第二次世界大戦を経て1947年に中学校、1948年に高等学校を開設、1949年の大学設置へと繋がる。そして、1950年には早緑子供の園(保育所)と舞鶴幼稚園を学院内組織に組み入れたことによって、現在の学院の基盤ができあがった。

その後、大学の学部・学科や大学院の研究科の充実、中学校・高等学校の男女共学化及び一貫教育の実施等を経て、2010年に小学校を開設し、現在の学院組織が完成した。

創業者 C.K. ドージャーの教育理念は「キリスト教に基づく人格教育」であり、その遺訓である“*Seinan, Be True to Christ* — 西南よ、キリストに忠実なれ—”は、「建学の精神」として現在に継承されている。

1999(平成11)年3月には、建学の精神を踏まえて、「西南学院の使命」を「学校法人西南学院は、『キリストに忠実なれ』の建学の精神に基づいて、真理の探求及び優れた人格の形成に励み、地域社会及び国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする」と定義した。

また、2014(平成26)年12月には、今後も建学の精神を守り、さらに発展し続けるために「西南学院ビジョン 2016-2025」(P2 図1 参照)を策定した。これは、2016(平成28)年5月の創立100周年にあたり、現代の視点で建学の精神を見つめ直すことで、学院の全構成員が一つの将来像に向かって共通の目標を持ち、創立100周年以降も進み続けようとするものである。

さらに、2015(平成27)年12月には、ビジョンを具現化するため、各学校・園・保育所において検討を重ね、「中長期計画 2016-2025」を策定した。策定においては、学院が擁する保育所、幼稚園、小学校、中学校・高等学校及び大学のすべてにわたって、一人ひとりを大切にしたい保育・教育を続けるため、「ビジョン実現に向けた課題」と「アクションプラン」を議論し、精査したものを取りまとめた。

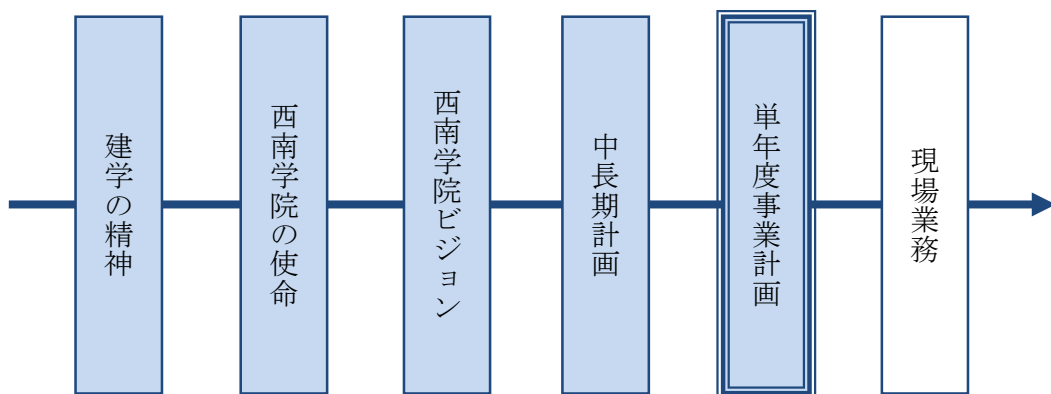
本事業計画書は建学の精神から現場業務まで繋がる一貫性(P2 図2 参照)のもとに、上述の「建学の精神」、「西南学院の使命」、「西南学院ビジョン 2016-2025」、「中長期計画 2016-2025」に続く、「2016年度事業計画」を計画書として取りまとめたものである。

図1 「西南学院ビジョン 2016-2025」



- 人間育成：キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践
- 教育研究：確かな保育・教育力と新たな知と価値の創造
- 国際感覚：異文化を受容し、行動できる国際性の修得
- 地域貢献：進化する福岡とともに歩む学院としての自覚と協働
- 経営基盤：永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築

図2 建学の精神から現場業務まで繋がる一貫性



I. 学校法人西南学院事業計画

1. 人間育成：キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
学院全体における建学の精神の浸透	建学の精神である“Seinan, Be True to Christ”の現代的かつ明瞭な解説と学院内外への発信

<2016 年度事業計画>

- ・学院、保育所、幼稚園、小学校、中学校・高等学校及び大学において、これまで建学の精神について解説した資料を収集し、一つの資料としてまとめる。

2. 教育研究：確かな保育・教育力と新たな知と価値の創造

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
修学支援に向けた奨学金の充実	創立 100 周年を記念した奨学金の創設

<2016 年度事業計画>

- ・他大学等の奨学金制度を参考に、創立 100 周年に相応しい奨学金制度の設計を検討する。

3. 国際感覚：異文化を受容し、行動できる国際性の修得

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
国際化に対応した研修制度の整備	国際化に向けた職員研修制度の充実

<2016 年度事業計画>

- ・2017 年度の海外研修募集から、今まで副次的な位置付けであった語学研修にフォーカスを当てた新制度を導入予定である。新制度は、応募時の設定スコアと研修後の目標スコアを定義することで、研修効果を測りやすいものになっている。
- ・新制度の評価は、導入後の応募者の動向や成果を踏まえ、2 年から 3 年をかけて行う予定である。
- ・現段階では、応募時の設定スコアを設けたことで応募者が出ないことも想定されることから、応募資格を満たすための自学自習を行う環境整備を行うべく、考えられる資源やその運用方法の検討を進める。

4. 地域貢献：進化する福岡とともに歩む学院としての自覚と協働

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
環境対応の強化	(1) 地域社会の模範としての環境憲章等の制定と具体的な環境施策の実施
	(2) 環境活動情報の発信

<2016 年度事業計画>

- (1) 地域社会の模範としての環境憲章等の制定と具体的な環境施策の実施
 - ・学院の環境活動や啓発、省エネの体制づくりに着手する。
 - －大学環境マネジメント委員会の体制等の見直しの検討着手
 - －各学校・園・保育所への環境活動の現状把握と今後の展開の検討着手
- (2) 環境活動情報の発信
 - ・他法人の環境活動情報についての状況を確認しながら、学内情報共有システム「SAINS ポータル」等への環境活動情報の発信に着手する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
西南学院百年館（松緑館）を活用した地域貢献活動の展開	西南学院百年館（松緑館）を通じた学院史資料の展示や交流拠点（地域の方々や同窓生等）の形成

<2016 年度事業計画>

- ・学院史資料センターを開設し、常設展を通年、企画展を年に 1 回開催する。（ただし、常設展については、2017 年度以降、通年）
- ・Startup Weekend 西南（仮称：Startup Weekend Fukuoka の本学版）を実施し、同窓生（企業人）や地域の方々と学生との新たな交流、相互作用の機会（起業学習の機会、職業観や就業観醸成の機会）を創出する。
- ・地域活性化事業に係る協議会やワークショップ等の開催を積極的に受入れる。

5. 経営基盤：永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
迅速かつ効果的な意思決定に向けたガバナンス体制の強化	理事会体制等の見直し

<2016 年度事業計画>

- ・理事会のもとに「学院理事会体制等の見直しに関する検討委員会（仮称）」を設置し、見直し項目の検討及び寄附行為変更案の策定を行い、年度内に理事会及び評議員会の承認を得る。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
ブランド管理や情報発信の強化	(1) 広報体制の強化
	(2) ブランディング基本方針の策定
	(3) シンボルマーク・ロゴタイプ・スクールカラー等に関するマニュアルの見直しと遵守の徹底
	(4) 西南学院としての情報発信の強化

<2016 年度事業計画>

(1) 広報体制の強化

- ・本アクションプランとその他の組織改編に関するアクションプラン、また、現状の組織統制や組織効率における諸課題を踏まえ、事務局組織の全体的見直しを検討する。検討においては、ヒアリングや他学校法人事例調査を実施し、所定会議での協議を経て、全体的見直しにおける方針・全改編内容・スケジュール（段階的スケジュールも想定）を決定する。

(2) ブランディング基本方針の策定

- ・非入学者の調査を実施し、その結果を基にブランディングの基本方針を検討する。

(3) シンボルマーク・ロゴタイプ・スクールカラー等に関するマニュアルの見直しと遵守の徹底

- ・学院のシンボルマーク・ロゴタイプ・スクールカラーについて検討を行い、マニュアル作成の準備を行う。

(4) 西南学院としての情報発信の強化

- ・発刊した学院広報誌をさらに充実させ、学院ホームページの更新を増やして情報発信を強化する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
校友行政の強化	(1) 同窓生対象の会報発行やホームページの充実
	(2) 校友との交流の活性化
	(3) 大学博物館を活用したチャペルウェディングの利用促進

<2016 年度事業計画>

(1) 同窓生対象の会報発行やホームページの充実

- ・100周年事業の進捗状況を報告するために「100周年ニュース」を発行する。募金ホームページにおいて、募金状況を随時報告する。

(2) 校友との交流の活性化

- ・卒業生の方々との交流や親睦を目的とした「ホームカミングデー」の部署移管について協議する。西南学院百年館（松緑館）については、運用等について関係者と協議し、2016年10月22日のオープンまでに決定する。

(3) 大学博物館を活用したチャペルウェディングの利用促進

- ・株式会社キャンパスサポート西南及び大学博物館とともに、状況調査と現状改善に向けた検討を行う（チャペルウェディングの認知向上に向けた校友への周知等）。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
後援会との協力関係の強化	大学における後援会組織の創設と西南学院としての後援会間の連携

<2016 年度事業計画>

- ・後援会設置については、自治会費との関係が大きいと、関係部署間で協議し、今後の進め方を検討する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
マスコミとの連携強化	マスコミ懇談会開催とプレスリリース等情報発信の強化

<2016 年度事業計画>

- ・マスコミ懇談会をマスコミ局長級懇談会に発展させ、これまでより多くの関係者に情報発信する機会を設け、マスコミ各社との関係を強化する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
危機管理体制の強化	危機管理基本マニュアルの学院内共有と浸透

<2016 年度事業計画>

- ・大学の危機管理基本マニュアルをベースとした学院の危機管理基本マニュアルの原案の作成に着手する。また、各部署に危機管理個別マニュアル作成着手の依頼を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
健全な財務基盤の確立に向けた財務管理の強化	(1) 中長期計画の実行と健全な財政を踏まえた各種目標数値の設定と改善検討
	(2) 各種管理指標（教育研究経費比率や総人件費比率等）の点検と改善検討
	(3) 寄付金の獲得強化

<2016 年度事業計画>

(1) 中長期計画の実行と健全な財政を踏まえた各種目標数値の設定と改善検討

- ・2016 年当初予算において支出超過となっている基本金組入前収支差額について、年度途中の新規事業の抑制等により次年度予算編成において収入超過への改善を目指す。また、過去 10 年間の収支差額の変化内容の確認及び変化要因の分析を行い、改善項目を整理して実行プランを作成する。その他、外部環境の変化に対応するための規程の改正を含めた資金運用についての新たな施策を立案し、実行を目指す。

(2) 各種管理指標（教育研究経費比率や総人件費比率等）の点検と改善検討

- ・私立学校振興・共済事業団の各種財務比率データを参考数値として、2015 年度決算における本学の財務比率の点検を行い、問題点の検証と改善事項を抽出し、検討を所定会議にて実行する。

(3) 寄付金の獲得強化

- ・現在実施している創立 100 周年記念募金について、目標額を達成するように企画し、実施する。

II. 西南学院早緑子供の園事業計画

1. 人間育成：キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
キリスト教精神に触れる機会の充実	(1) <園児>キリスト教に関する活動や行事（舞鶴幼稚園との合同礼拝、クリスマス行事、鳥飼バプテスト教会礼拝等）の充実を図る。
	(2) <職員>積極的にキリスト教を学ぶとともに、日常の様々な場面において、キリスト教精神（隣人愛等）を伝える保育を実践する。非常勤職員も含めて、聖書を学ぶ会の充実を図る。
	(3) <保護者>キリスト教に関する活動や行事を通して、あるいは子どもが育つ姿から、保護者がキリスト教を知り、学び、保護者のキリスト教への親しみと理解を醸成する。

<2016年度事業計画>

- (1) <園児>キリスト教に関する活動や行事（舞鶴幼稚園との合同礼拝、クリスマス行事、鳥飼バプテスト教会礼拝等）の充実を図る。
 - ・舞鶴幼稚園と合同で行うキリスト教行事の内容や方法を見直す。
- (2) <職員>積極的にキリスト教を学ぶとともに、日常の様々な場面において、キリスト教精神（隣人愛等）を伝える保育を実践する。非常勤職員も含めて、聖書を学ぶ会の充実を図る。
 - ・職員を対象に実施している「聖書を学ぶ会」における3年スパンの計画を作成し、2016年度分を実施する。
- (3) <保護者>キリスト教に関する活動や行事を通して、あるいは子どもが育つ姿から、保護者がキリスト教を知り、学び、保護者のキリスト教への親しみと理解を醸成する。
 - ・保護者へのキリスト教行事に関するおたよりの内容を見直し、必要に応じて新たに作成する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
園児・保護者・職員の全ての関係性において、相手の尊厳を守る関わりの実践	真の隣人愛を育む土台として、子どもの尊厳を守ることを保育実践の場で実現する。

<2016年度事業計画>

- ・保育の土台にあるキリスト教に基づいた人間教育を、具体的な指導案立案の際に意識しながら、実践を言語化していく。

2. 教育研究：確かな保育・教育力と新たな知と価値の創造

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
保育の充実	(1) 中長期計画全体を踏まえた上で、保育課程の再編と確認を行ない、学院の保育所として、質の向上と理念に基づいた保育の実践に務める。
	(2) これまで力を入れてきた特色ある保育内容（乳児保育の充実・縦割り保育・子どもの多面的経験の保障）について、現状の総括や社会への発信を行い、次の段階に進む機会とする。

	(3) 新任保育士や非常勤保育士への教育を充実させるため、保育者育成に向けた研修制度を構築する。
--	--

<2016 年度事業計画>

- (1) 中長期計画全体を踏まえた上で、保育課程の再編と確認を行ない、学院の保育所として、質の向上と理念に基づいた保育の実践に務める。
 - ・保育課程や保育計画の意味や意義をテーマに、研究会を実施する。
- (2) これまで力を入れてきた特色ある保育内容（乳児保育の充実・縦割り保育・子どもの多面的経験の保障）について、現状の総括や社会への発信を行い、次の段階に進む機会とする。
 - ・総括、検証法や手順の検討を始める。
- (3) 新任保育士や非常勤保育士への教育を充実させるため、保育者育成に向けた研修制度を構築する。
 - ・2016 年度の目標及び達成のための実践方法と内容を検討し、進める。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
保育実践研究の体系化	実践の場に生きる保育実践研究の充実を図り、毎年公的な場での発表を行う。研究助成を受けての継続的研究を進める。

<2016 年度事業計画>

- ・全国社会福祉協議会研究助成「B」の研究実施、論文執筆及び学会発表準備を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
西南学院の保育所としての特色強化	一人ひとりを大切にする保育の実践とキリスト教保育の理念の整合性を実践的に体系化する。

<2016 年度事業計画>

- ・キリスト教保育（雑誌）の原稿執筆を通し、保育理念と実際の保育展開の整合性確認の機会とする。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
西南学院大学との連携強化	西南学院大学人間科学部の教員や学生と連携した保育の充実を図る（研究会、合同研究、ボランティア活動等）とともに、研究の場として保育実践現場を積極的に開く。

<2016 年度事業計画>

- ・保育の充実に向けた研究（全国社会福祉協議会研究費助成）において、大学教員との連携（指導を仰ぐ等）を図る。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
保護者との連携強化	保護者から保育の理念や方針についての理解を得ることで、保育のさらなる充実を図る。その中で、園庭改造計画に関しての提案を行い、寄付金を募る。

<2016 年度事業計画>

- ・園庭改造プランを概ね決定する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
舞鶴幼稚園との連携強化	両園が同じ敷地に存在する意義を踏まえ、互いの特性が尊重されるような合同行事や研修会等の連携機会の充実、日常的な職員や園児同士の交流を図る。

<2016 年度事業計画>

- ・両園で連携・協働できることを織り込んで、年間行事の計画を作成する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
西南学院小学校との連携強化	園児と児童の交流をもとに、年齢ごとの発達課題に即した学院としての保育・教育理念が一貫して繋がり、強化されるよう、ともに確認・検討の機会を持つ。

<2016 年度事業計画>

- ・交流行事を実施するとともに、小学校教員との振り返りの機会を持つ。

3. 国際感覚：異文化を受容し、行動できる国際性の修得

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
園児一人ひとりの人格の育成	日常の保育の中で情緒の安定を図り、まずは自己を知り、そこから社会を広げていくことができるよう、個人の尊厳を守りながら保育を進める。

<2016 年度事業計画>

- ・尊厳を守ることと日々の保育の実際を関連づけられるように意識していくことを、全職員で再確認する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
異文化への興味や関心に基づく親しみの醸成	日常の中で異文化を意識するとともに、異文化に触れる機会を積極的に設ける。

<2016 年度事業計画>

- ・日常の保育や活動の中で異文化と触れる機会をどのように展開させていくか、具体的な実践案を検討する。

4. 地域貢献：進化する福岡とともに歩む学院としての自覚と協働

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
地域への子育て支援の強化	(1) 園庭の地域開放や園行事（こどもまつり、運動会、クリスマス等）の充実を図る。
	(2) 地域に向けた育児講座や育児相談の充実を図る。
	(3) 地域活動（地域の子育てサークル等）に参加し、子育て支援に貢献する。
	(4) 保育に関する実践知を活かして、研究会での実践発表依頼や保育見学希望に応える。

<2016 年度事業計画>

- (1) 園庭の地域開放や園行事（こどもまつり、運動会、クリスマス等）の充実を図る。
 - ・地域に開かれた保育所であることを広く知らせるために、ホームページ記載情報の更新や近隣へのポスター提示を行う。
- (2) 地域に向けた育児講座や育児相談の充実を図る。
 - ・従来通りの行事を計画・実施するとともに、毎年使用可能な資料やプログラムの作成を行う。
- (3) 地域活動（地域の子育てサークル等）に参加し、子育て支援に貢献する。
 - ・公民館サークルに定期的に訪問する。なお、訪問の際には行事案内などを持参し周知する。
- (4) 保育に関する実践知を活かして、研究会での実践発表依頼や保育見学希望に応える。
 - ・従来通り要請に応じるとともに、自らの振り返りや多面的な刺激や教示を受ける機会と捉える。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
西南学院としての保育者の輩出促進	西南学院大学人間科学部児童教育学科の保育実習生の受入れや講義での学生指導、卒論等の研究受入れを行い、西南学院で学び培った保育観を持った保育者の輩出を促進する。

<2016 年度事業計画>

- ・保育実習計画の確認とともに、各クラス間の統一を図る。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
海外からの来福者に対する育児面の支援	日本や福岡における子育ての具体的な援助や必要とする機関の案内をする。

<2016 年度事業計画>

- ・要請や要望があった場合、可能な限り応えながら、今後の可能性を探る機会とする。

5. 経営基盤：永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
子ども・子育て支援新制度への対応	政府動向（公定価格等）や他保育所事例等を注視し、西南学院舞鶴幼稚園と連携して検討を継続していく。

<2016年度事業計画>

- ・日常の保育の中での交流等を含め、年度当初に連携の方法や内容を話し合った上で実践していく。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
組織体制の整備	中長期計画全体を踏まえた上で、さらなるチームワークの発揮、また、業務の質の向上及び効率化に向けて、役割や業務内容を整理し、現状の組織の妥当性や改善点を検討する。

<2016年度事業計画>

- ・専任保育士、特任保育士及び非常勤保育士それぞれの役割と責任の明確化について、既存のものを確認し、必要に応じて修正を加える。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
施設・設備の整備	環境変化や老朽化を踏まえ、園庭改造・2階保育室の暖房設備改善・シャワー設備の完備・緊急時の避難車置き場整備・3保育室と事務室の空調設備入替を順次計画し進めていく。

<2016年度事業計画>

- ・下記の通り整備を進める。
 - －2階保育室のシャワー設備工事の実施。
 - －老朽化した空調機（1クラス分）の取り換え工事の実施。
 - －避難車の設置場所に応じた避難訓練の実施。
 - －乳児園庭東側の避難経路確保における具体的な計画の検討・実施。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
安全管理・危機管理の徹底	(1) 安全管理・危機管理マニュアルの見直しとともに、防災・防犯に関する対策行動や設備・機器・備品の点検を実施する。
	(2) 緊急時に対応できる保育士体制を構築する。

<2016年度事業計画>

- (1) 安全管理・危機管理マニュアルの見直しとともに、防災・防犯に関する対策行動や設備・機器・備品の点検を実施する。
 - ・園児の急病やけがの対応について、マニュアルを再確認するとともに、小児に対する人工呼吸とAED使用方法の復習を行う。
- (2) 緊急時に対応できる保育士体制を構築する。
 - ・既存のマニュアルの確認と必要に応じた修正を行う。
 - ・有事における指揮者の確認を行う。
 - ・保育士の年齢構成を、5年ごとに15年後までをシミュレートし、保育運営上の視点からの計画を立てるとともに、財政等も含めた専任化の可能性を検証する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
財務基盤の強化	実情に合った収入の確保に向け、公定価格の内容を精査する。

<2016 年度事業計画>

- ・新制度関連の説明会や研修会に積極的に参加し、必要に応じて学院関係部署と情報を共有する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
西南学院小学校への接続強化	西南学院小学校に関する情報（受験案内等）の発信業務を整備する。

<2016 年度事業計画>

- ・保育園で遊ぶ会（年 5 回）や入所説明会（随時）の折に、パンフレットを配布する。
- ・小学校児童と園児の交流活動を実施する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
西南学院舞鶴幼稚園の案内強化	本園に見学に来る保護者や未入所（待機）の保護者に対し、西南学院舞鶴幼稚園の未就園児クラス・行事・入園の案内を行う。

<2016 年度事業計画>

- ・保育園で遊ぶ会（年 5 回）や入所説明会（随時）の折に、舞鶴幼稚園の行事案内を実施する。

Ⅲ. 西南学院舞鶴幼稚園事業計画

1. 人間育成：キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
キリスト教精神に触れる機会の充実	保育者や保護者のキリスト教理解を促進する。

<2016 年度事業計画>

- ・キリスト教理解を促進するための研修について、具体的な内容を話し合い、計画を練る。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
ひかりのこ（神に愛されている子どもとして、喜びと感謝をもって、人を愛し、平和をつくりだす子ども）を目指す保育の実践	自己肯定感を育み、仲間づくりを重視した保育を実践する。

<2016 年度事業計画>

- ・子ども達の日々の様子と保育カリキュラムに即して、保育の計画・実行・振り返りを毎日行う。

2. 教育研究：確かな保育・教育力と新たな知と価値の創造

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
保育の充実	保育の内容を見直しながら、より質の高い保育の実践を目指す。

<2016 年度事業計画>

- ・集団づくり、読み聞かせ用絵本及びリズム運動に関するカリキュラムの資料作成に取り組む。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
西南学院早緑子供の園との連携強化	同じ学院の幼稚園と保育園の両園が同じ敷地に存在する意義を踏まえ、合同での活動や研修会、交流会等の連携機会の充実を図る。

<2016 年度事業計画>

- ・両園の主任が連携を取り合い、保育や研修の中での関わりを増やしていけるよう計画する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
保育者の専門性強化	教育研究費による自己研究や出張費による研修参加等を通じて、幅広い知識や技能を身に付け、保育に生かすように促す。

<2016 年度事業計画>

- ・様々な研修会の情報周知を進めていく。また、予算での外部研修会参加の枠に合わせて、計画し、参加する。

3. 地域貢献：進化する福岡とともに歩む学院としての自覚と協働

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
地域への子育て支援の強化	まいづるまつり、運動会等の園行事を近隣の親子や住民に出来るだけオープンにして参加を促し、幼児のために園庭開放等の充実を図る。

<2016 年度事業計画>

- ・園庭開放には教師を一人配置し、質問や育児相談を受ける体制を整える。

4. 経営基盤：永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
子ども・子育て支援新制度への対応	政府動向（公定価格等）や他幼稚園事例等を注視し、早緑子供の園と連携して検討を継続していく。

<2016 年度事業計画>

- ・制度に関する情報収集により理解を深め、教師全員で議論を重ねたうえで対応を慎重に決定する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
施設・設備の整備	環境変化や老朽化を踏まえ、園舎の修繕・改築を必要に応じて計画的に進めていく。

<2016 年度事業計画>

- ・園舎、園庭、各設備に関する点検担当者を決め、学期ごとに点検を行い、必要に応じて修繕工事を実施する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
安全管理・危機管理の徹底	園内の危険箇所をチェックし、リストを作成して全教員への周知を進める安全管理を徹底し、怪我や事故に対する危機管理マニュアルの見直し及び防災・防犯に関する対策行動の点検を実施する。

<2016 年度事業計画>

- ・園内危険箇所チェック表を作成し、事故や大怪我への対応について教師の意識を高めていく。

IV. 西南学院小学校事業計画

1. 人間育成：キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
4つのキリスト教的理念を学ぶ機会の充実	(1) チャペル、聖書科授業、キリスト教に関する諸行事等の充実を図る。
	(2) 実践を通して学ぶ機会（ボランティア活動や学年縦割交流等）の充実を図る。
	(3) 教職員が積極的にキリスト教を学び、日常の様々な場面において、4つのキリスト教的理念を児童に学ばせる指導を実践する。
	(4) 保護者との懇談会やキリスト教に関する諸行事を通して、キリスト教に基づく教育に対する理解を促進する。

<2016年度事業計画>

- (1) チャペル、聖書科授業、キリスト教に関する諸行事等の充実を図る。
 - ・チャペル・聖書科教育について
 - －夏季休業中に校内研修会を行う。
 - －道徳の教科化に関する情報収集を行う。
 - ・諸行事について
 - －行事の実施案審議において、必ず理念とのつながりを確認する。
- (2) 実践を通して学ぶ機会（ボランティア活動や学年縦割交流等）の充実を図る。
 - ・現在行っている取組みの成果と課題（反省）を記録していく。
- (3) 教職員が積極的にキリスト教を学び、日常の様々な場面において、4つのキリスト教的理念を児童に学ばせる指導を実践する。
 - ・聖書やキリスト教について知りたいことをアンケートの実施等により把握し、テーマに反映させる。
- (4) 保護者との懇談会やキリスト教に関する諸行事を通して、キリスト教に基づく教育に対する理解を促進する。
 - ・学校通信には毎号必ず聖句とそれに関するメッセージを掲載する。
 - ・聖書の言葉について、10名程度の規模で自由に交流できる学びの場の実現可能性を検討する。

2. 教育研究：確かな保育・教育力と新たな知と価値の創造

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
教育の充実（カリキュラムや教育方法）	(1) 中長期計画全体を踏まえた上で、教育の充実に向け、カリキュラムやプログラムを見直す。
	(2) 教育における特色（充実した教科活動や外国語教育等）を強化する。
	(3) 目標設定と学習評価による効果的・効率的な教育方法を強化する。
	(4) 西南学院中学校・高等学校や西南学院大学との連携を活かした教育や交流の充実を図る。
	(5) 「チームで指導し全体で育てる」というモットーを実践する組織的対応を強化する。

<2016 年度事業計画>

- (1) 中長期計画全体を踏まえた上で、教育の充実に向け、カリキュラムやプログラムを見直す。
 - ・今後の教育界の動向に関する情報を収集し、2017 年度の教育理念実現のためにどのように取り入れ活かしていくか検討する。
- (2) 教育における特色（充実した教科活動や外国語教育等）を強化する。
 - ・他校の特色ある取組みについて、教職員へ紹介記事の配付等を行う。
- (3) 目標設定と学習評価による効果的・効率的な教育方法を強化する。
 - ・学習や生活に関する児童に向けた定期的なアンケートを確実に実施するとともに、取組みの成果と課題を整理し改善すべきことを把握する。
- (4) 西南学院中学校・高等学校や西南学院大学との連携を活かした教育や交流の充実に図る。
 - ・現在、春と夏の 2 回行っている連絡会の回数を最低 1 回増やし、共通理解や情報の共有化を促進する。
 - ・校内授業研究の日時・内容を中学校・高等学校へ確実に案内する。
- (5) 「チームで指導し全体で育てる」というモットーを実践する組織的対応を強化する。
 - ・不登校やいじめなどが起きたり兆候がみられたりした場合、状況に応じて管理職やカウンセラー、養護教諭及び担任等で構成する対策委員会を開催し、解決にあたる。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
教育の充実（教員の質）	(1) 研修メニューの充実や研修参加の促進を図る。
	(2) 研究や公開授業の活性化を図る。
	(3) 新任教員等の経験が浅い教員に対する育成システムの構築を図る。

<2016 年度事業計画>

- (1) 研修メニューの充実や研修参加の促進を図る。
 - ・夏季休業中等も含め、外部への研修会や授業公開に専任教諭全員が毎年 1 度は参加する体制を整える。
- (2) 研究や公開授業の活性化を図る。
 - ・2015 年度新しいサイクルでスタートした授業研究の成果と課題をもとに、全員による授業公開を行い、研究テーマが目指す具体的な児童の姿を学年ごとに明らかにしていく。
- (3) 新任教員等の経験が浅い教員に対する育成システムの構築を図る。
 - ・対象教員の指導上の課題や悩みなどを把握・整理し、改善に向けての取組み計画を立てる。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
保護者との連携強化	懇談会やアンケート等を通して、保護者とのコミュニケーション（協力依頼や意見収集等）を促進する。

<2016 年度事業計画>

- ・他校の取組み等の情報収集を行う。

3. 国際感覚：異文化を受容し、行動できる国際性の修得

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
教育の充実（外国語教育）	カリキュラムや教育方法の改善とともに、外国語を用いる活動や場面、また異文化を体験する機会の充実を図る。

<2016 年度事業計画>

- ・福岡市外国語活動研究会等の各研究機関への積極的参加を行う。
- ・外国語活動における交流機会について、現在の留学生交流会以外の取組みを検討・企画し、2017 年度からの実施を目指す。

4. 地域貢献：進化する福岡とともに歩む学院としての自覚と協働

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
地域との交流強化	地域との交流機会の充実を図る。

<2016 年度事業計画>

- ・見学等の校外学習を行う際には、事前の依頼と事後のお礼を確実に行うとともに、地域からの交流機会に関する要望に可能な限り応える。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
地域ボランティア活動の充実	地域ボランティア活動の充実を図る。

<2016 年度事業計画>

- ・具体的なオファーがあった場合には丁寧に対応するとともに、ボランティアに関する要望に可能な限り応える。

5. 経営基盤：永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
志願者獲得に向けた広報強化	(1) 保育所・幼稚園・塾に対する広報や本校における説明会等の催しを充実し、本校への進学の魅力徹底周知する。
	(2) マスコミやホームページを徹底活用し、本校の特色やブランドイメージの浸透を図る。

<2016 年度事業計画>

- (1) 保育所・幼稚園・塾に対する広報や本校における説明会等の催しを充実し、本校への進学の魅力徹底周知する。
 - ・学校説明会のアンケートにパンフレットについての項目も取り入れ、その結果を参考に構成を見直す。
 - ・ホームページにおける学校説明会の紹介をより詳細なものにする。
- (2) マスコミやホームページを徹底活用し、本校の特色やブランドイメージの浸透を図る。
 - ・ネイバーキャンプ、ウイングタイム、留学生交流会、ブレインオリンピック及びウイングツアーのプレスリリースを行う。
 - ・学校説明会のアンケートにホームページについての項目も取り入れ、その結果を参考に構成を見直す。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
組織体制の整備	中長期計画全体を踏まえた上で、さらなるチームワークの発揮、また、業務の質の向上及び効率化に向けて、体制を見直すとともに、役割と責任と権限の明確化を図る。

<2016 年度事業計画>

- ・全教職員の職能成長が図られ、かつ調和のとれた校務運営を行うための校務分掌組織及び決定までのプロセスのあり方を探る。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
施設・設備の整備	施設・設備における今後の計画として、空調整備を進める。

<2016 年度事業計画>

- ・整備に向けての大きなスケジュールや資金確保の方途についての計画を作成する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
安全管理・危機管理の徹底	安全管理・危機管理マニュアルの見直しとともに、防災・防犯に関する対策行動の点検を実施する。

<2016 年度事業計画>

- ・現在のマニュアルを再確認するとともに、月に一度の安全点検を確実に実施する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
財務基盤の強化	収入拡充（寄付金拡充等）と支出抑制（人件費支出抑制等）を図る。

<2016 年度事業計画>

- ・新入学時の寄付金呼びかけにおいて、具体的な用途や目的を伝える。
- ・向こう 10 年程度の収支シミュレーションを行い、今後の必要な対策を明らかにする。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
後援会組織との連携強化	後援会組織との交流機会の充実を図る。

<2016 年度事業計画>

- ・後援会役員とより望ましい後援会活動について意見交流を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
西南学院中学校・高等学校への接続強化	西南学院全体として、西南学院中学校・高等学校の情報（進学の魅力や受験情報等）を徹底周知し、内部進学を促進する。

<2016 年度事業計画>

- ・5 年生を対象とした児童・保護者向けの説明会を実施し、その中で本校卒業生の話も聞く機会を設けること等について中学校・高等学校と協議・検討する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
西南学院早緑子供の園・舞鶴幼稚園との 接続強化	西南学院全体として、本校の情報（進学の魅力や受験情報 等）を徹底周知し、内部進学を促進する。

<2016 年度事業計画>

- ・1年生生活科における、早緑子供の園の年長児との交流を維持する。
- ・学校公開のポスター掲示や学校パンフレットの配付を行う。

V. 西南学院中学校事業計画

1. 人間育成：キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
「平和をつくりだす人間教育」の反映、浸透	(1) チャペルやミッション・ウィークを活用した、いのちを大切にする教育や「人権学習」・「平和学習」の充実
	(2) 副読本「西南学院で学ぶ」(仮称)の作成と自校教育における活用
	(3) 修学旅行や韓国への(からの)旅等の交流プログラムによる平和学習の充実

<2016年度事業計画>

- (1) チャペルやミッション・ウィークを活用した、いのちを大切にする教育や「人権学習」・「平和学習」の充実
 - ・宗教部を中心に現在のプログラムについて検証する。
- (2) 副読本「西南学院で学ぶ」(仮称)の作成と自校教育における活用
 - ・宗教部を中心に副読本の目的や構成等について検討し、編集計画を組み立てる。
- (3) 修学旅行や韓国への(からの)旅等の交流プログラムによる平和学習の充実
 - ・宗教部を中心に現在のプログラムについて検証する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
「キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践」の反映、浸透	(1) 生徒が主体的に企画・運営するボランティア活動の充実
	(2) 生徒によるチャペル企画や奉仕活動の充実
	(3) 地域の教会や他のキリスト教主義学校との連携によるプログラムの充実

<2016年度事業計画>

- (1) 生徒が主体的に企画・運営するボランティア活動の充実
- (2) 生徒によるチャペル企画や奉仕活動の充実
 - ・宗教部を中心に現在のプログラムについて検証する。
- (3) 地域の教会や他のキリスト教主義学校との連携によるプログラムの充実
 - ・宗教部を中心に連携強化に向けた取組みについて検討する。

2. 教育研究：確かな保育・教育力と新たな知と価値の創造

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
入試制度・生徒募集	(1) 入学者規模、入学定員(収容定員)の見直しと検討
	(2) 入試制度(専願・前期・後期・帰国生等の入試制度、入試科目、出題形式、入試日程等)の検討

<2016年度事業計画>

- (1) 入学者規模、入学定員(収容定員)の見直しと検討
 - ・中長期計画検討委員会を中心に中高一貫教育や西南学院小学校推薦制度等の検証を踏まえて見直し案を検討する。

- (2) 入試制度（専願・前期・後期・帰国生等の入試制度、入試科目、出題形式、入試日程等）の検討
- ・入試対策委員会において制度改革の方向性について検討する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
カリキュラム・教科教育	(1) 中高一貫教育体制の見直しと検討
	(2) 教科教育の充実
	(3) ICT教育の検討

<2016年度事業計画>

- (1) 中高一貫教育体制の見直しと検討
- ・運営委員会や職員会議において中高一貫教育の現状と課題について協議し、今後の見直しについて検討する。
- (2) 教科教育の充実
- ・各教科において教育内容の充実に向けた検討を行う。
- (3) ICT教育の検討
- ・ICT委員会を中心に教育プログラムの検討とともに環境整備の年次計画を策定する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
進路指導	進路指導体制および手法の見直しと検討

<2016年度事業計画>

- ・進路指導部を中心に現状の課題を検証し、今後の改善方策について検討する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
就学支援	(1) 奨学金の拡充と充実（金額・人数・対象者・基準等）
	(2) 特別支援体制の整備と充実
	(3) スクールソーシャルワーカーの活用

<2016年度事業計画>

- (1) 奨学金の拡充と充実（金額・人数・対象者・基準等）
- ・奨学金担当の教職員において奨学金制度の現状と課題を検証し、充実に向けた計画案を策定する。
- (2) 特別支援体制の整備と充実
- (3) スクールソーシャルワーカーの活用
- ・カウンセリング委員会などにおいて現状の課題を検証し、就学支援体制の強化に向けた具体的方策を検討する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
総合的な「知」	(1) 外部講師による講演会やチャペル講話の充実・強化
	(2) 芸術の授業や鑑賞行事等を通じた感性を養う教育の検討・充実
	(3) 図書館利用を通じた教育の充実・学習方法の修得

<2016 年度事業計画>

- (1) 外部講師による講演会やチャペル講話の充実・強化
 - ・ 宗教部を中心に現在のプログラムについて検証し、課題と改善方策を検討する。
- (2) 芸術の授業や鑑賞行事等を通じた感性を養う教育の検討・充実
 - ・ 芸術科を中心に感性を養う教育のあり方について検討する。
- (3) 図書館利用を通じた教育の充実・学習方法の修得
 - ・ 図書部を中心に図書館利用の現状と課題を検証する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
教員の資質向上	(1) 研究授業の積極的展開
	(2) 研修制度の見直しと検討

<2016 年度事業計画>

- (1) 研究授業の積極的展開
 - ・ 研究授業のあり方について各教科において協議・検討する。
- (2) 研修制度の見直しと検討
 - ・ 研修制度のあり方や研究費の拡充について校長・教頭を中心に協議・検討する。また、外部資金の獲得状況について検証する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
研究機能の強化と研究支援	(1) 研究費の拡充、外部資金の獲得支援等
	(2) 教育活動に関する積極的な情報発信の促進

<2016 年度事業計画>

- (1) 研究費の拡充、外部資金の獲得支援等
 - ・ 研修制度のあり方や研究費の拡充について校長・教頭を中心に協議・検討する。また、外部資金の獲得状況について検証する。
- (2) 教育活動に関する積極的な情報発信の促進
 - ・ 広報部を中心に情報発信の現状と課題を検証する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
教育施設の整備	実験室や視聴覚教室、課外活動施設等の校内施設・設備の充実

<2016 年度事業計画>

- ・ 建築委員会を設置して現状の課題を検証し、今後の計画案を検討する。

3. 国際感覚：異文化を受容し、行動できる国際性の修得

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
グローバル人材の育成	(1) 多様性を認め合う共生社会の形成に向けたプログラムの検討
	(2) 国際交流プログラム（海外研修を含む）の充実、留学制度や留学提携校の検討
	(3) 帰国生への対応（募集拡大、教学支援の検討）

<2016 年度事業計画>

- (1) 多様性を認め合う共生社会の形成に向けたプログラムの検討
- (2) 国際交流プログラム（海外研修を含む）の充実、留学制度や留学提携校の検討
- (3) 帰国生への対応（募集拡大、教学支援の検討）
 - ・国際交流委員会を中心に交流プログラムの課題を検証し、語学力向上を含めた今後の計画について検討する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
英語教育のさらなる強化と拡充	(1) 全生徒に対する英語力の全般的な向上
	(2) 西南学院大学の言語教育センターおよび国際センターの利用、大学交換留学生との交流
	(3) GTEC 等の英語力の学外指標の導入

<2016 年度事業計画>

- (1) 全生徒に対する英語力の全般的な向上
- (2) 西南学院大学の言語教育センターおよび国際センターの利用、大学交換留学生との交流
- (3) GTEC 等の英語力の学外指標の導入
 - ・国際交流委員会を中心に交流プログラムの課題を検証し、語学力向上を含めた今後の計画について検討する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
留学生の受入れ体制の強化によるキャンパスの国際化の推進	(1) 留学生の受入れ体制の強化
	(2) 留学生との交流の拡充
	(3) 国際化に対応した教職員の国際研修制度の充実

<2016 年度事業計画>

- (1) 留学生の受入れ体制の強化
- (2) 留学生との交流の拡充
- (3) 国際化に対応した教職員の国際研修制度の充実
 - ・国際交流委員会を中心に交流プログラムの課題を検証し、語学力向上を含めた今後の計画について検討する。

4. 地域貢献：進化する福岡とともに歩む学院としての自覚と協働

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
地域住民との連携	百道浜自治協議会との連携強化

<2016 年度事業計画>

- ・校長・教頭等を中心に百道浜自治協議会との関係性構築に向けた計画案を検討する。

5. 経営基盤：永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
ガバナンスの強化	(1) 組織体制の見直しと検討
	(2) ガバナンスのチェックと改善、強化（職員会議、校内委員会等）

<2016 年度事業計画>

(1) 組織体制の見直しと検討

(2) ガバナンスのチェックと改善、強化（職員会議、校内委員会等）

- ・校務分掌に定められている各種会議や委員会について、近年の開催状況、根拠規程や議事録の有無等を確認し、今後の改善・強化に向けた検討のための基礎資料をまとめる。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
広報活動	中学校・高等学校全体のブランディング・広報戦略

<2016 年度事業計画>

- ・広報部を中心に広報活動の現状を整理し、課題の検証と改善に向けた検討を行う。学校案内や各種広報ツールのリニューアルや新規制作についても検討し、必要な予算申請を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
I C T環境の整備	I C Tシステムの見直しと改善

<2016 年度事業計画>

- ・I C T委員会を中心に施設の現状を整理し、情報環境の充実に向けた検討を行う。環境整備に向けた年次計画を組み立て、関係会議体の協議を経て、必要な予算申請を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
運営管理体制の強化	(1) 危機管理体制
	(2) 災害対応・施設強化

<2016 年度事業計画>

(1) 危機管理体制

(2) 災害対応・施設強化

- ・危機管理規程制定に向けた情報収集・検討を進める。防災ロッカーや防災グッズの設置状況を検証し、必要な整備に向けた予算申請を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
教職員に対する健康管理の充実	定期健康診断に基づく保健指導の充実、メンタルヘルス等の対応強化

<2016 年度事業計画>

- ・ 衛生委員会を中心に教職員の健康管理体制の充実に向けた方策について検討する。

VI. 西南学院高等学校事業計画

1. 人間育成：キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
「平和をつくりだす人間教育」の反映、浸透	(1) チャペルやミッション・ウィークを活用した、いのちを大切にする教育や「人権学習」・「平和学習」の充実
	(2) 副読本「西南学院で学ぶ」(仮称)の作成と自校教育における活用
	(3) 韓国への(からの)旅等の交流プログラムによる平和学習の充実

<2016年度事業計画>

- (1) チャペルやミッション・ウィークを活用した、いのちを大切にする教育や「人権学習」・「平和学習」の充実
 - ・宗教部を中心に現在のプログラムについて検証する。
- (2) 副読本「西南学院で学ぶ」(仮称)の作成と自校教育における活用
 - ・宗教部を中心に副読本の目的や構成等について検討し、編集計画を組み立てる。
- (3) 韓国への(からの)旅等の交流プログラムによる平和学習の充実
 - ・宗教部を中心に現在のプログラムについて検証する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
「キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践」の反映、浸透	(1) 生徒が主体的に企画・運営するボランティア活動の充実
	(2) 生徒によるチャペル企画や奉仕活動の充実
	(3) 地域の教会や他のキリスト教主義学校との連携によるプログラムの充実

<2016年度事業計画>

- (1) 生徒が主体的に企画・運営するボランティア活動の充実
- (2) 生徒によるチャペル企画や奉仕活動の充実
 - ・宗教部を中心に現在のプログラムについて検証する。
- (3) 地域の教会や他のキリスト教主義学校との連携によるプログラムの充実
 - ・宗教部を中心に連携強化に向けた取組みについて検討する。

2. 教育研究：確かな保育・教育力と新たな知と価値の創造

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
入試制度・生徒募集	(1) 入学者規模、入学定員(収容定員)の見直しと検討
	(2) 入試制度(専願・前期・後期・帰国生等の入試制度、入試科目、出題形式、入試日程等)の検討
	(3) 西南学院大学推薦入試制度の見直しと検討

<2016年度事業計画>

- (1) 入学者規模、入学定員(収容定員)の見直しと検討

- ・中長期計画検討委員会を中心に中高一貫教育や西南学院小学校推薦制度等の検証を踏まえて見直し案を検討する。
- (2) 入試制度（専願・前期・後期・帰国生等の入試制度、入試科目、出題形式、入試日程等）の検討
 - (3) 西南学院大学推薦入試制度の見直しと検討
 - ・入試対策委員会において制度改革の方向性について検討する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
カリキュラム・教科教育	(1) 中高一貫教育体制の見直しと検討
	(2) 教科教育の充実
	(3) ICT教育の検討

<2016年度事業計画>

- (1) 中高一貫教育体制の見直しと検討
 - ・運営委員会や職員会議において中高一貫教育の現状と課題について協議し、今後の見直しについて検討する。
- (2) 教科教育の充実
 - ・各教科において教育内容の充実に向けた検討を行う。
- (3) ICT教育の検討
 - ・ICT委員会を中心に教育プログラムの検討とともに環境整備の年次計画を策定する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
進路指導	(1) 進路指導体制および手法の見直しと検討
	(2) 高大接続および連携の課題に対応した進路指導の充実

<2016年度事業計画>

- (1) 進路指導体制および手法の見直しと検討
- (2) 高大接続および連携の課題に対応した進路指導の充実
 - ・進路指導部を中心に現状の課題を検証し、今後の改善方策について検討する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
就学支援	(1) 奨学金の拡充と充実（金額・人数・対象者・基準等）
	(2) 特別支援体制の整備と充実
	(3) スクールソーシャルワーカーの活用

<2016年度事業計画>

- (1) 奨学金の拡充と充実（金額・人数・対象者・基準等）
 - ・奨学金担当の教職員において奨学金制度の現状と課題を検証し、充実に向けた計画案を策定する。
- (2) 特別支援体制の整備と充実
- (3) スクールソーシャルワーカーの活用
 - ・カウンセリング委員会などにおいて現状の課題を検証し、就学支援体制の強化に向けた具体的方策を検討する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
総合的な「知」	(1) 外部講師による講演会やチャペル講話の充実・強化
	(2) 芸術の授業や鑑賞行事等を通じた感性を養う教育の検討・充実
	(3) 図書館利用を通じた教育の充実・学習方法の修得

<2016 年度事業計画>

- (1) 外部講師による講演会やチャペル講話の充実・強化
 - ・ 宗教部を中心に現在のプログラムについて検証し、課題と改善方策を検討する。
- (2) 芸術の授業や鑑賞行事等を通じた感性を養う教育の検討・充実
 - ・ 芸術科を中心に感性を養う教育のあり方について検討する。
- (3) 図書館利用を通じた教育の充実・学習方法の修得
 - ・ 図書部を中心に図書館利用の現状と課題を検証する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
教員の資質向上	(1) 研究授業の積極的展開
	(2) 研修制度の見直しと検討

<2016 年度事業計画>

- (1) 研究授業の積極的展開
 - ・ 研究授業のあり方について各教科において協議・検討する。
- (2) 研修制度の見直しと検討
 - ・ 研修制度のあり方や研究費の拡充について校長・教頭を中心に協議・検討する。また、外部資金の獲得状況について検証する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
研究機能の強化と研究支援	(1) 研究費の拡充、外部資金の獲得支援等
	(2) 教育活動に関する積極的な情報発信の促進

<2016 年度事業計画>

- (1) 研究費の拡充、外部資金の獲得支援等
 - ・ 研修制度のあり方や研究費の拡充について校長・教頭を中心に協議・検討する。また、外部資金の獲得状況について検証する。
- (2) 教育活動に関する積極的な情報発信の促進
 - ・ 広報委員を中心に情報発信の現状と課題を検証する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
教育施設の整備	実験室や視聴覚教室、課外活動施設等の校内施設・設備の充実

<2016 年度事業計画>

- ・ 建築委員会を設置して現状の課題を検証し、今後の計画案を検討する。

3. 国際感覚：異文化を受容し、行動できる国際性の修得

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
グローバル人材の育成	(1) 多様性を認め合う共生社会の形成に向けたプログラムの検討
	(2) 帰国生への対応（募集拡大、教学支援の検討）
	(3) 国際交流プログラム（海外研修）の見直しと改善、留学制度や留学提携校の検討
	(4) 卒業後の海外大学進学への支援体制の構築

<2016年度事業計画>

- (1) 多様性を認め合う共生社会の形成に向けたプログラムの検討
- (2) 帰国生への対応（募集拡大、教学支援の検討）
- (3) 国際交流プログラム（海外研修）の見直しと改善、留学制度や留学提携校の検討
- (4) 卒業後の海外大学進学への支援体制の構築
 - ・国際交流委員会を中心に交流プログラムの課題を検証し、語学力向上を含めた今後の計画について検討する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
英語教育のさらなる強化と拡充	(1) 全生徒に対する英語力の全般的な向上
	(2) 西南学院大学の言語教育センターおよび国際センターの利用、大学交換留学生との交流
	(3) TOEFL、TOEIC等の英語力の学外指標の導入

<2016年度事業計画>

- (1) 全生徒に対する英語力の全般的な向上
- (2) 西南学院大学の言語教育センターおよび国際センターの利用、大学交換留学生との交流
- (3) TOEFL、TOEIC等の英語力の学外指標の導入
 - ・国際交流委員会を中心に交流プログラムの課題を検証し、語学力向上を含めた今後の計画について検討する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
留学生の受入れ体制の強化によるキャンパスの国際化の推進	(1) 留学生の受入れ体制の強化
	(2) 留学生との交流の拡充
	(3) 国際化に対応した教職員の国際研修制度の充実

<2016年度事業計画>

- (1) 留学生の受入れ体制の強化
- (2) 留学生との交流の拡充
- (3) 国際化に対応した教職員の国際研修制度の充実
 - ・国際交流委員会を中心に交流プログラムの課題を検証し、語学力向上を含めた今後の計画について検討する。

4. 地域貢献：進化する福岡とともに歩む学院としての自覚と協働

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
地域における貢献活動	サイエンスラボ等の公開授業の積極的な展開

<2016年度事業計画>

- ・教科において充実計画を検討する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
地域住民との連携	百道浜自治協議会との連携強化

<2016年度事業計画>

- ・校長・教頭等を中心に百道浜自治協議会との関係性構築に向けた計画案を検討する。

5. 経営基盤：永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
ガバナンスの強化	(1) 組織体制の見直しと検討
	(2) ガバナンスのチェックと改善、強化（職員会議、校内委員会等）

<2016年度事業計画>

- (1) 組織体制の見直しと検討
- (2) ガバナンスのチェックと改善、強化（職員会議、校内委員会等）
 - ・校務分掌に定められている各種会議や委員会について、近年の開催状況、根拠規程や議事録の有無等を確認し、今後の改善・強化に向けた検討のための基礎資料をまとめる。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
広報活動	中学校・高等学校全体のブランディング・広報戦略

<2016年度事業計画>

- ・広報部を中心に広報活動の現状を整理し、課題の検証と改善に向けた検討を行う。学校案内や各種広報ツールのリニューアルや新規制作についても検討し、必要な予算申請を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
I C T環境の整備	I C Tシステムの見直しと改善

<2016年度事業計画>

- ・I C T委員会を中心に施設の現状を整理し、情報環境の充実に向けた検討を行う。環境整備に向けた年次計画を組み立て、関係会議体の協議を経て、必要な予算申請を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
運営管理体制の強化	(1) 危機管理体制
	(2) 災害対応・施設強化

<2016 年度事業計画>

(1) 危機管理体制

(2) 災害対応・施設強化

- ・危機管理規程制定に向けた情報収集・検討を進める。防災ロッカーや防災グッズの設置状況を検証し、必要な整備に向けた予算申請を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
教職員に対する健康管理の充実	定期健康診断に基づく保健指導の充実、メンタルヘルス等の対応強化

<2016 年度事業計画>

- ・衛生委員会を中心に教職員の健康管理体制の充実に向けた方策について検討する。

Ⅶ. 西南学院大学事業計画

1. 人間育成：キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
建学の精神の浸透	(1) 自校教育の強化
	(2) 自校教育に関する推薦図書の利用促進

<2016 年度事業計画>

(1) 自校教育の強化

- ・受講者数の増加に関しては、提供コマ数等と密接に関連する事項であることから、自校教育の質的充実を図るべく、講義にて必要とする資料を調査し、提供する。
- ・学院史資料センターが行う常設展・企画展を通じて、学院史等を広く公開・発信する。
- ・百年史刊行後（2017 年 5 月予定）、百年史の総論を基に、自校史教材本の制作に向けて研究を進める。
- ・現在実施している学院史研究会を継続して年 1 回開催する。
- ・調査研究員制度について調査・研究を行う。

(2) 自校教育に関する推薦図書の利用促進

- ・西南学院史資料センターと連携しながら、2017 年 4 月オープンの新図書館 1 階ブックツリー周辺に自校教育に関する推薦図書コーナーの設置及び具体的な配架を検討し、さらに広報展開を策定していく。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
キリスト教に関する教育研究活動の活性化	(1) キリスト教精神の理解につながる体験的学びの拡充
	(2) キリスト教に関するフォーラムやシンポジウム等の開催
	(3) キリスト教に関するエクステンション講座の拡充
	(4) キリスト教及び他宗教も含めた研究活動の促進支援

<2016 年度事業計画>

(1) キリスト教精神の理解につながる体験的学びの拡充

- ・現在あるプログラムの内容の検証を行うとともに、周知媒体を検証し、効果的な周知を行う。

(2) キリスト教に関するフォーラムやシンポジウム等の開催

- ・現在実施している企画の検証を行うとともに、周知媒体を検証し、効果的な周知を行う。

(3) キリスト教に関するエクステンション講座の拡充

- ・キリスト教に関する講座の実施について調査を行い、検討する。2016 年度後期の実施に向けて準備する。

(4) キリスト教及び他宗教も含めた研究活動の促進支援

- ・キリスト教を含めた宗教に関する研究関係者情報や研究資料の提供を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
本学の特色を発揮したボランティア活動の活性化	(1) サービス・ラーニングの推進
	(2) ボランティアリーダーの育成
	(3) 海外ボランティア活動の強化
	(4) ボランティア活動機会の学院全体での情報共有とボランティア活動の活性化

<2016 年度事業計画>

(1) サービス・ラーニングの推進

- ・大学改革フォーラム等を通じて、学内 GP 及び教育インキュベートプログラムの取組み事例を紹介し、興味を持つ教員（集団）の実施を支援する。支援方法としては、教育インキュベートプログラムでの募集・採択、特色ある学部教育実施経費での実施等を検討する。

(2) ボランティアリーダーの育成

- ・既存の講座への参加者数を増やし、ボランティア活動の基礎的知識を習得させる。
- ・ボランティア関係シンポジウムや講演会へ参加する。
- ・ボランティアリーダー養成のための講座開催の準備を行う。

(3) 海外ボランティア活動の強化

- ・現在の海外ボランティア活動の検証を行う。
- ・海外ボランティア活動プログラムを提供している、信頼性の高い団体を増加させる。
- ・教職員への情報発信の見直しを行う。

(4) ボランティア活動機会の学院全体での情報共有とボランティア活動の活性化

- ・保育所、幼稚園、小学校、中学校・高等学校及び大学等でのボランティア活動の内容調査を行うとともに、周知媒体を検証して、効果的な周知を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
社会問題に対する取組みの推進	社会問題（平和や貧困等）に取り組む外部機関・団体との連携

<2016 年度事業計画>

- ・外部機関や団体との連携を強化するとともに、内容の整理を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
西南学院各学校・園・保育所間における相互支援の推進	大学生による課外活動（クラブ・サークル活動等）を通じた西南学院各学校・園・保育所への支援

<2016 年度事業計画>

- ・2015 年度の課外活動団体（体育会・学術文化会）加入率を調査分析し、新入生加入率を増加させるための取組み活動（課外活動勧誘期間の見直し、体育会・学術文化会組織との更なる連携強化等）を実施する。並行して、課外活動団体からのヒアリングを行い、取組みを実施していく中でどのような支援・相談体制が必要なのか検討を行う。

2. 教育研究：確かな保育・教育力と新たな知と価値の創造

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
教育研究組織や入学定員（収容定員）の点検	(1) 収容定員の適正化
	(2) 理系分野を含む教育研究組織新設の具体的検討

<2016 年度事業計画>

(1) 収容定員の適正化

- ・本学の特色をさらに強化し、社会や地域の要請により積極的に応えていくために、過去 5 年間の入学者数の状況等の要素を総合的に勘案して収容定員を見直し、適正化を図る。

(2) 理系分野を含む教育研究組織新設の具体的検討

- ・学長の諮問機関として「新分野の教育・研究組織を考える検討委員会」を設置し、2015 年 1 月以降検討を重ねてきた。これまでの情報処理教育の実績に着目しつつ、さらに発展させるための新組織が構想されている。今後、学長への答申に基づき、教育研究組織の新設についての検討を深化させる。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
入学者選抜制度における中長期戦略の構築	(1) 選抜結果（男女・出身地・社会人・留学生等）の検証と入学者選抜の見直し
	(2) 高大接続改革実行プランを踏まえたアドミッション・ポリシーに基づく入学者選抜の見直し
	(3) 西南学院高等学校からの志願者の獲得
	(4) 福岡や九州以外からの志願者の獲得

<2016 年度事業計画>

(1) 選抜結果（男女・出身地・社会人・留学生等）の検証と入学者選抜の見直し

- ・2015 年度入試結果を基に、地区別など各種項目の構成比等を検証し課題の抽出を行うとともに、課題補完のための入試制度等の改善策を検討する。

(2) 高大接続改革実行プランを踏まえたアドミッション・ポリシーに基づく入学者選抜の見直し

- ・2015 年 3 月までに示される予定のガイドラインを基に、アドミッション・ポリシーの再設定に着手する。

(3) 西南学院高等学校からの志願者の獲得

- ・高校教員と大学教員との情報交換の場を設定し、志願者増に向けて課題の共有を図る。また、入試説明会において卒業生からのアドバイスを盛り込むなど、現役生が興味を持つ内容となるよう高校側と協議する。

(4) 福岡や九州以外からの志願者の獲得

- ・非入学者調査結果のデータ等をもとに、福岡県外からの志願者増につながる施策の原案作成を開始する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
高大連携の強化	高等学校・高校生との接点強化に向けた組織改編検討

<2016 年度事業計画>

- ・本アクションプランとその他の組織改編に関するアクションプラン、また、現状の組織統制や組織効率における諸課題を踏まえ、事務局組織の全体的見直しを検討する。検討においては、ヒアリングや他大学事例調査を実施し、所定会議での協議を経て、全体的見直しにおける方針・全改編内容・スケジュール（段階的スケジュールも想定）を決定する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
教育課程の体系化と単位制度の実質化	(1) 各学部等の理念と3つのポリシーの点検
	(2) 順次性のある体系的な教育課程の構築と開講科目のスリム化
	(3) 入学や学年進行に応じたアカデミックスキルの育成強化
	(4) 事前・事後学修に関する指示や指導の強化

<2016 年度事業計画>

(1) 各学部等の理念と3つのポリシーの点検

- ・学部長及び研究科長と理念及び3つのポリシーの適切性を検証し、必要があれば適宜修正を加える。3つのポリシーは、構成要素（盛り込むべき内容等）が文部科学省から提示される可能性があるため、文部科学省の動向に留意し、当該構成要素が明らかになった時点で、学部及び研究科に整備を依頼する。

(2) 順次性のある体系的な教育課程の構築と開講科目のスリム化

- ・履修モデルは、各学部及び研究科の特性に応じて作成され、学生便覧等に掲載されている。
- ・カリキュラム・マップは、一部の学科で作成された事例を学部長に紹介しており、作成を希望する学部は、当該事例を参考に関係部署が作成支援を行う。
- ・ナンバリングは、原案を所定会議に提示し、システムとの関係を検証中である。ナンバリングの検証後、カリキュラム・マップ、履修モデル及びナンバリング等を用いて各学部で開講科目数の適正化を進めるよう促す。

(3) 入学や学年進行に応じたアカデミックスキルの育成強化

- ・入学前教育は、現在までの実施状況の適切性を検証し、必要に応じて整備する。
- ・初年次教育及び学修支援は、各学部の意向を確認するとともに、図書館の計画と整合させるために、全体像を作成する。

(4) 事前・事後学修に関する指示や指導の強化

- ・講義要綱（シラバス）作成要領に事前・事後学修についての具体的な指示を記載する。
- ・学生便覧へ事前・事後学修の必要性を記載する。
- ・eラーニングシステムと学生基本情報の教務サブシステムとの連携による手続きの迅速化を検討する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
教育方法や教育プログラムの拡充	(1) 学生の主体的学修を促すアクティブ・ラーニングの推進
	(2) eラーニングの活用
	(3) TA[Teaching Assistant]・SA[Student Assistant]の活用
	(4) 本学の特色の一部である「語学教育」・「情報処理教育」・「少人数教育」の点検と改善検討

<2016 年度事業計画>

- (1) 学生の主体的学修を促すアクティブ・ラーニングの推進
- (2) eラーニングの活用
 - ・大学改革フォーラム等を通じて、学内 GP 及び教育インキュベートプログラムの取組み事例を紹介し、興味を持つ教員（集団）の実施を支援する。支援方法としては、教育インキュベートプログラムでの募集・採択、特色ある学部教育実施経費での実施等を検討する。
- (3) TA・SA の活用
 - ・前年度に検証を行った教育支援及び学修支援に関する取扱い要領に則って試行し、不具合箇所を整備する。
- (4) 本学の特色の一部である「語学教育」・「情報処理教育」・「少人数教育」の点検と改善検討
 - ・自己点検・評価における教育内容及び方法の適切性の検証の際に、学部長の意向を確認する。
 - ・学部長の意向を整理して、現実的な施策を作成し、所定会議へ上程して承認を求める。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
FD[Faculty Development]の継続的な展開	(1) 大学改革フォーラム等の充実
	(2) 学内外における FD 事例の収集と発信
	(3) 専任教員ハンドブックの充実

<2016 年度事業計画>

- (1) 大学改革フォーラム等の充実
 - ・2015 年度までのアンケートに記載されたテーマを踏まえて、テーマ、内容及び方法を整備する。
 - ・周知媒体を検証して、効果的な周知を行う。
- (2) 学内外における FD 事例の収集と発信
 - ・日本私立大学連盟等に、FD の先進事例を照会する。
 - ・紹介された先進事例に取り組む大学の教職員から、大学改革フォーラム等で報告してもらうように準備を進める。
- (3) 専任教員ハンドブックの充実
 - ・2016 年度は、下記の準備を進める。
 - －教職員から、専任教員ハンドブックへの要望を聴取する。
 - －記載内容の拡充につながる情報を収集する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
学修支援・学生生活支援の強化	(1) 学修成果を測定するための評価指標の開発と活用
	(2) 学修における自己管理（振り返りによる到達度や取り組むべき課題の把握等）の促進
	(3) 学生への総合的な支援に向けた組織改編検討
	(4) 教学と事務が一体化した入学から卒業までの一貫したフォロー体制の構築
	(5) 退学率ゼロプロジェクトの推進
	(6) 障がい者に向けた環境の整備

<2016 年度事業計画>

- (1) 学修成果を測定するための評価指標の開発と活用
 - ・2015 年度は、各学部・学科・専攻にルーブリック原案を提示して、検討を促した。
 - ・検討結果を踏まえて、各学部・学科・専攻のルーブリック及びそれに準じる資料を適正な発行物にて公表する。
 - ・さらにカリキュラム・マップの検討を進める。
- (2) 学修における自己管理（振り返りによる到達度や取り組むべき課題の把握等）の促進
 - ・カリキュラム・マップと成績評価を組合せた自己管理シートの作成を試行する。
- (3) 学生への総合的な支援に向けた組織改編検討
 - ・本アクションプランとその他の組織改編に関するアクションプラン、また、現状の組織統制や組織効率における諸課題を踏まえ、事務局組織の全体的見直しを検討する。検討においては、ヒアリングや他大学事例調査を実施し、所定会議での協議を経て、全体的見直しにおける方針・全改編内容・スケジュール（段階的スケジュールも想定）を決定する。
- (4) 教学と事務が一体化した入学から卒業までの一貫したフォロー体制の構築
 - ・学生相談室が実施している現行の関係者会議等の拡大を図り、学生への支援体制構築のための教学関係部門連携の定例会を実施する。
- (5) 退学率ゼロプロジェクトの推進
 - ・退学理由について現状を調査分析し、退学率を今後も低水準で維持するための施策及び更なる減少に向けた施策を検討する。
- (6) 障がい者に向けた環境の整備
 - ・施設、設備の整備について調査・検討及び施工を行う。
 - ・障がい学生修学支援案内の発行を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
ラーニング・コモンズの充実	(1) アクティブ・ラーニング・スペースにおける運営スタッフの配置
	(2) ラーニング・コモンズにおける学生スタッフ制度の導入と育成
	(3) 教員による正課内外でのラーニング・コモンズの活用

<2016 年度事業計画>

- (1) アクティブ・ラーニング・スペースにおける運営スタッフの配置
 - ・2017 年 4 月の新図書館オープンに向けて、サービス内容や学年暦・学内行事等に則した運営体制を検討する。
 - ・2017 年度以降の運営スタッフ計画を策定する。
- (2) ラーニング・コモンズにおける学生スタッフ制度の導入と育成
 - ・2017 年 4 月の新図書館オープンに向けて、各学部・学科(専攻)から学生スタッフを雇用及びボランティア募集し、利用者ニーズに則したサービス内容を企画・検討し、さらに学生スタッフの育成を図る。
 - ・2017 年度以降のサービス計画を策定する。
- (3) 教員による正課内外でのラーニング・コモンズの活用
 - ・2017 年 4 月の新図書館オープンに向けて、教員・学生向けにラーニング・コモンズの活用方法も含めた利用案内作成等の広報展開を策定する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
キャリア支援・就職支援の強化	(1) 学生一人ひとりに対応したキャリア支援・就職支援の強化
	(2) キャリア教育（正課外含む）の充実
	(3) キャリア支援・就職支援プログラムの拡充
	(4) 関東や関西における就職支援の強化

<2016 年度事業計画>

- (1) 学生一人ひとりに対応したキャリア支援・就職支援の強化
 - ・キャリアセンター職員の学部担当制を強化し、学部との連携を心がけながら進路支援を行う。学部の教育方針を理解し、教員との情報交換の場を活用して、学生個々の特性に応じたサポートに注力できる体制を整える。
- (2) キャリア教育（正課外含む）の充実
 - ・入学初年度のキャリア教育を重視し、キャリアデザイン講座の学部教育での展開を強化する。また、企業の担当者を招いたセミナーなど、産学、官学との連携を強化し、実社会との学びのリンクを前提にしたキャリア教育を展開する。
- (3) キャリア支援・就職支援プログラムの拡充
 - ・インターンシップについては低学年向けのプログラムを強化する。また就職支援プログラムについては、単に就職活動のためのテクニック修得を目的とするのではなく、ビジネス力の修得を念頭にしたプログラムを拡充する。

(4) 関東や関西における就職支援の強化

- ・東京オフィスの活用促進や大阪にある私学事業団の学生就職活動サポートセンターの案内強化に加え、同窓会支部との連携等、同窓生との交流を就職支援に繋げる体制づくりを行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
研究支援の強化	(1) 学内研究支援制度（研究インキュベート等）の整備
	(2) 外部資金の獲得に向けた支援強化

<2016 年度事業計画>

- (1) 学内研究支援制度（研究インキュベート等）の整備
- (2) 外部資金の獲得に向けた支援強化
 - ・現行制度を検証し、その一環で教職員から要望を聴取する。
 - ・他大学の支援制度を調査し、良い部分を制度に反映させる。
 - ・2016 年度は、上記を実施するための準備を行う。

3. 国際感覚：異文化を受容し、行動できる国際性の修得

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
教育環境の整備	(1) 育成するグローバル人材像の明確化と「西南学院大学グローバルリーダープログラム」（仮称）の開発
	(2) 外国語による授業科目の拡充
	(3) 日本人学生と外国人留学生との合同授業の拡充
	(4) 国際的な機関・団体や企業との連携
	(5) TOEFL・TOEIC・IELTS 等の受験奨励と成績データの活用
	(6) 外国語によるコミュニケーション施設の設定

<2016 年度事業計画>

- (1) 育成するグローバル人材像の明確化と「西南学院大学グローバルリーダープログラム」（仮称）の開発
 - ・2015 年度に作成した草案を所定会議で検討し、適宜修正するとともに、2017 年度からの導入準備を行う。
- (2) 外国語による授業科目の拡充
 - ・留学生別科の授業を受講できる制度の活用を促す。
 - ・各学部で外国語による授業が可能な科目を調査し、2017 年度以降、現実的な開講数を設定し、漸増させる。
- (3) 日本人学生と外国人留学生との合同授業の拡充
 - ・留学生別科の授業を受講できる制度の活用を促す。
 - ・各学部が開講する科目との合同授業を検討する。
- (4) 国際的な機関・団体や企業との連携
 - ・大学改革フォーラム等を通じて、取組み事例を紹介し、興味を持つ教員（集団）の実施を支援する。支援方法としては、教育インキュベートプログラムでの募集・採択、特色ある学部教育実施

経費での実施等を検討する。

- (5) TOEFL・TOEIC・IELTS等の受験奨励と成績データの活用
- ・既に語学検定試験の単位認定制度を導入している学部の事例を検証する。
 - ・語学検定試験結果を追跡調査し、TOEICについては、学年別 TOEIC スコア到達目標との比較を行う。
 - ・スコアアップのための制度（対策講座、検定料補助）の実施結果を検証し、所要の改善を行う。
- (6) 外国語によるコミュニケーション施設の設置
- ・イングリッシュ라운ジの設置目的及び運用・管理の方法を調査・検討する。
 - ・メディア学習室を利用する学生にアンケートを実施し、イングリッシュ라운ジに対する具体的な要望を聴取する。
 - ・イングリッシュ라운ジの場所及び仕様を確定し、必要な機器・備品の選定を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
留学生派遣・受入れ環境の整備	(1) 各種目標数値（留学生派遣数等）の設定
	(2) 協定校の拡充と連携強化
	(3) 適正な学期制度の検討
	(4) ダブルディグリー留学制度の検討
	(5) 外国人留学生と日本人学生との混在型宿舎の新設

<2016 年度事業計画>

- (1) 各種目標数値（留学生派遣数等）の設定
- ・各種目標値を下記のとおり掲げ、関係組織等に周知する。
 - －海外渡航者数
 - 2020 年度までに年間 800 人
 - 2025 年度までに年間 1,000 人
 - －海外派遣留学生
 - 2020 年度までに年間 150 人
 - 2025 年度までに年間 200 人
 - －受入れ交換留学生数
 - 2020 年度までに年間 150 人
 - 2025 年度までに年間 200 人
- (2) 協定校の拡充と連携強化
- ・教授交流の提案があった協定校に交換教授等による教員交流の可能性について調査する。その結果をもとに、所定会議で協議する。協定校に本学学生を内規適用私費留学生として派遣する可能性について調査する。その結果をもとに、所定会議で指定校内規適用私費留学生制度について協議する。
- (3) 適正な学期制度の検討
- ・現行制度を検証し、その一環で教職員から要望を聴取する。
 - ・他大学の制度を調査し、良い部分を制度に反映させる。
 - ・2016 年度は、上記の調査と調査結果の整理を行う。
- (4) ダブルディグリー留学制度の検討
- ・現行制度と実績を検証し、その一環で教職員及び学生から要望を聴取する。

- ・他大学の制度を調査し、良い部分を制度に反映させる。
 - ・2016年度は、上記の調査と調査結果の整理を行う。
- (5) 外国人留学生と日本人学生との混在型宿舎の新設
- ・宿舎の新設の必要性を協議し、2016年9月末までに所定会議に上程する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
教職員体制の整備	(1) 外国人教員の採用や招聘の推進
	(2) 国際共同研究の推進
	(3) 国際化に向けた教員研修制度の充実

<2016年度事業計画>

- (1) 外国人教員の採用や招聘の推進
- ・協定校との交換教授制度を利用して、当該教授による授業の開講を企画する。
 - ・現行制度と実績を検証し、その一環で教職員及び学生から要望を聴取する。
 - ・他大学の制度を調査し、良い部分を制度に反映させる。
 - ・2016年度は、上記の調査結果を踏まえて、提案書を作成する。
- (2) 国際共同研究の推進
- (3) 国際化に向けた教員研修制度の充実
- ・現行制度と実績を検証し、その一環で教職員から要望を聴取する。
 - ・他大学の制度を調査し、良い部分を制度に反映させる。
 - ・2016年度は、上記の調査と調査結果の整理を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
各種支援の強化	(1) 外国人留学生 OB・OG の組織化
	(2) 外国人留学生に対する就職支援の強化

<2016年度事業計画>

- (1) 外国人留学生 OB・OG の組織化
- ・2016年5月までに所定会議で協議し、派遣・受入留学生のOB・OGの個人情報収集システムを構築する。
- (2) 外国人留学生に対する就職支援の強化
- ・国際センターや大学院との情報交換により、留学生のニーズを把握する。それに基づいて支援のために有益な情報源を探る。

4. 地域貢献：進化する福岡とともに歩む学院としての自覚と協働

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
地域貢献活動の充実に向けた組織改編	地域貢献活動全体を俯瞰し、地域のニーズを踏まえた活動の改善や新たな活動の展開を担う「地域貢献室」（仮称）の設置検討

<2016年度事業計画>

- ・本アクションプランとその他の組織改編に関するアクションプラン、また、現状の組織統制や組織効率における諸課題を踏まえ、事務局組織の全体的見直しを検討する。検討においては、ヒアリ

ングや他大学事例調査を実施し、所定会議での協議を経て、全体的見直しにおける方針・全改編内容・スケジュール（段階的スケジュールも想定）を決定する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
大学諸施設を活用した地域貢献活動の充実	(1) 西南コミュニティーセンターや大学チャペルを通じた大学と地域の交流強化
	(2) 大学博物館による展示会等各種活動の強化と見学促進
	(3) 大学図書館における学院全体での利用や一般利用の拡大検討
	(4) 大学キャンパスグランドデザイン構想を通じた地域貢献可能なキャンパス整備

<2016 年度事業計画>

- (1) 西南コミュニティーセンターや大学チャペルを通じた大学と地域の交流強化
 - ・年1回開催している西南コミュニティーセンター主催のイベントを定期的実施できるように企画案を検討する。
- (2) 大学博物館による展示会等各種活動の強化と見学促進
 - ・下記に沿って強化・促進に取り組む。
 - － 展覧会事業：春季特別展、秋季特別展、企画展3回
 - － 教育活動：公開講演会2回、博物館実習、こどもワークショップ3回
 - － 産官学連携事業：産官学連携展示6回、せいなんおでかけワークショップ2回、講座2回
 - － 研究協定連携事業：相互貸借特集展示6回、ミュージアムトーク
 - － 刊行物の発行：図録3回、博物館ニュース4回、年報、紀要、常設展示室リニューアルに伴うパンフレット
- (3) 大学図書館における学院全体での利用や一般利用の拡大検討
 - ・大学図書館の運営上、学院全体での利用及び一般利用により本学学生の利用に不便が生じないように検討する。2017年度新図書館オープン以降の方向性を探る。
- (4) 大学キャンパスグランドデザイン構想を通じた地域貢献可能なキャンパス整備
 - ・下記に沿ってキャンパス整備を進める。
 - － 新図書館南側広場の活用
 - － 中央キャンパス南側の庭園及び緑道整備(地区計画)

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
地域社会の知的基盤としての地域貢献活動の充実	(1) パートナーシップ・プログラムの対象拡大
	(2) エクステンション講座の拡充と参加促進
	(3) 環境に関する取組みの推進

<2016 年度事業計画>

- (1) パートナーシップ・プログラムの対象拡大
 - ・本学の知的資源を活用した社会貢献活動として、講師派遣や各種審議会への委員派遣等の実績を積んでいる「パートナーシップ・プログラム」について、地域企業のニーズを調査し、本学が対応可能な内容について検討する。

(2) エクステンション講座の拡充と参加促進

- ・講座数約 40 講座及び受講者数約 1,000 名を 2016 年度目標とし、さらなる拡充と参加促進に取り組む。

(3) 環境に関する取組みの推進

- ・既存の環境活動を基盤とした活動のサポートを継続しながら、他の環境活動の情報を収集し、環境への取組みが充実するような情報発信やサポートを行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
地域貢献活動における情報発信の強化	地域貢献活動全体における実績の可視化と情報開示

<2016 年度事業計画>

- ・ボランティア活動報告会等の実施方法について、検討・準備を行うとともに、ホームページでの情報発信について検証する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
福岡の文化や歴史についてのプログラムを通じた地域振興	福岡について学ぶエクステンション講座の展開

<2016 年度事業計画>

- ・講座の実施に向けて検討を行い、2016 年度後期から実施できるように準備する。

5. 経営基盤：永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
迅速かつ効果的な意思決定に向けたガバナンス体制の整備	(1) 学長支援体制の強化
	(2) 各種会議体や委員会のあり方の見直しと役割や権限の明確化
	(3) 教職協働の強化に向けた事務局人事制度の見直し
	(4) 自己点検・評価の効率化と実質化

<2016 年度事業計画>

(1) 学長支援体制の強化

- ・本アクションプランとその他の組織改編に関するアクションプラン、また、現状の組織統制や組織効率における諸課題を踏まえ、事務局組織の全体的見直しを検討する。検討においては、ヒアリングや他大学事例調査を実施し、所定会議での協議を経て、全体的見直しにおける方針・全改編内容・スケジュール（段階的スケジュールも想定）を決定する。

(2) 各種会議体や委員会のあり方の見直しと役割や権限の明確化

- ・所定会議の内規の見直しを行う。
- ・現在の常設委員会について、必要性を検証し、必要であれば個別に委員会に関する規程を作成し、規程集に明記する。

(3) 教職協働の強化に向けた事務局人事制度の見直し

- ・事務局の目指す姿及び求められる職員像に近づけるために、採用、人事考課、研修を含む人事制度全体を俯瞰した上で、施策の検討を進める。

- ・人事考課制度の改善に向けた改正案の策定を行う。

(4) 自己点検・評価の効率化と実質化

- ・2017年度に大学基準協会の認証評価を受けるため、毎年の自己点検・評価活動に加えて、2016年度は申請に向けた諸準備が必要となる。これを機に、自己点検・評価体制やプロセスの簡素化及び学外者の活用等について検討する。合わせて2016年度は、総括的で根拠の明確な自己点検・評価を行うため、2014年度に運用開始した自己点検・評価システムを改修する。諸課題が掲げられた中長期計画の進捗管理と自己点検評価との時期及びサイクルを合わせることで、両者の連携を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
「西南学院大学」のブランディング	入試センターと広報課との連動による受験生に向けた入試広報戦略の再構築

<2016年度事業計画>

- ・2016年度入試における非入学者調査を実施する。その結果をもとに関係部署間で入試広報戦略について協議し、課題の共有を図るとともに、業務連携の在り方等を検討する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
マスコミとの連携強化	学外者利用に向けた教員データベースの内容充実と利便性の向上

<2016年度事業計画>

- ・現行制度と実績を検証し、その一環で教員から要望を聴取する。
- ・他大学の制度を調査し、良い部分を制度に反映させる。
- ・教員データベースの動画掲載の検討を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
IR[Institutional Research]による運営管理の強化	(1) IRの実践に向けた体制の整備
	(2) IRによる学生募集・学生支援・教学支援等の推進

<2016年度事業計画>

(1) IRの実践に向けた体制の整備

- ・本アクションプランとその他の組織改編に関するアクションプラン、また、現状の組織統制や組織効率における諸課題を踏まえ、事務局組織の全体的見直しを検討する。検討においては、ヒアリングや他大学事例調査を実施し、所定会議での協議を経て、全体的見直しにおける方針・全改編内容・スケジュール（段階的スケジュールも想定）を決定する。

(2) IRによる学生募集・学生支援・教学支援等の推進

- ・現行制度と実績を検証する。
- ・データの統合、連関、反映、更新及び共有可能な制度を整備する。
- ・データやアンケート等を検証し、必要に応じて再設計する。
- ・2016年度は、上記を実施するための準備を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
危機管理体制の強化	研究不正の防止に向けた制度や体制の点検

<2016 年度事業計画>

- ・研究活動に関与している教職員に、2014 年度から実施している公的研究費の適正な執行と研究倫理に関する研修会等の受講を継続して義務付ける。また、実効性のある研修会とするため、研修内容や実施回数等の点検をし、必要に応じて見直しを行う。
- ・研究活動に関与している教職員に対して、2014 年度から実施している公的研究費の支出及び研究不正に関する誓約書の提出を継続して求める。また、研究不正に対する制度やルール の点検をし、必要に応じて見直しを行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
健全な財務基盤の確立に向けた点検と改善検討	(1) 補助金（経常費補助金や科学研究費補助金等）の獲得強化
	(2) 財政的観点による大学キャンパスグランドデザイン構想の見直しと計画的なキャンパス整備

<2016 年度事業計画>

- (1) 補助金（経常費補助金や科学研究費補助金等）の獲得強化
 - ・私立大学等経常費補助金申請について、申請業務の重要性と申請内容が補助金受給額に及ぼす影響を各部署に再認識させ、申請書類の確認と見直しを確実にを行う体制を整える。また、民間財団等助成金公募の情報収集を積極的に行い、掲示板への掲示等により情報提供を行う。また、外部資金獲得のためのセミナー等についても検討していく。更に、科学研究費補助金申請書類作成のための支援について、他大学の状況を調査して申請書作成のサポート体制を整える。
- (2) 財政的観点による大学キャンパスグランドデザイン構想の見直しと計画的なキャンパス整備
 - ・図書館（旧館）解体工事及び図書館（新館）の改修工事に向け、工事方法及び期間を検討する。
 - ・体育センター（仮称）以降の建物に関する総事業費及び施工計画の見直しを行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
コンプライアンス体制の強化	(1) 個人情報の管理体制の強化
	(2) 人権侵害（アカハラ・パワハラ・セクハラ等）についての継続的な対応強化
	(3) ホームページ上の公益通報窓口の設置

<2016 年度事業計画>

- (1) 個人情報の管理体制の強化
 - ・毎年 1 回データの保存や廃棄等に関する管理状況確認のためのチェックリストを作成する。
 - ・3 年に一度個人情報保護ファイルのデータを最新版にする。この場合において、各部署を 3 つのパートに再編し、3 年間で一巡することにする。
- (2) 人権侵害（アカハラ・パワハラ・セクハラ等）についての継続的な対応強化
 - ・人権侵害（アカハラ、パワハラ、セクハラ等）の対応については、未然対応と事後対応の 2 種類がある。未然対応については、教職員に対する事例の紹介等の機会を設ける等の対応が考えられるが、このような取組みを実施することによる副次的な影響もあることから、所定会議構成員等の意見を聞きつつ、対応案を策定する。事後対応の仕組みについて、教職員に対して周知を図る。

(3) ホームページ上の公益通報窓口の設置

- ・ 下記のとおり、設置に向けて検討を行う。
 - － 公益通報制度の調査（4月～6月）
 - － 公益通報制度の立案及び規程化（7月～9月）
 - － 制度及び規程案の常任までの会議体上程（10月～12月）
 - － 理事会決定（3月）

Ⅷ. 西南学院大学院事業計画

1. 人間育成：キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
建学の精神を通じたキリスト教精神の理解	大学院棟内における自校教育に関する推薦図書コーナーの設置

<2016 年度事業計画>

- ・自校教育に関する推薦図書コーナーの大学院棟内の設置場所及び推薦図書について検討を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
障がい者へ向けた修学支援の充実	障がい者への修学支援体制の充実

<2016 年度事業計画>

- ・関係部署間で協議し、障がい者への主に組織的な支援体制について、今後の取組み計画の検討を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
キリスト教精神を学ぶ機会の充実	大学チャペルやボランティア活動に関する情報提供の推進

<2016 年度事業計画>

- ・関係部署間で協議し、今後の取組み計画について検討を行う。（東キャンパスでのチャペル放送の可能性等）

2. 教育研究：確かな保育・教育力と新たな知と価値の創造

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
教育の充実	(1) 1 年間で学位を取得させる規定に基づく具体的な制度の検討（優れた業績をあげた者を対象とする）
	(2) 研究倫理教育の充実
	(3) TA[Teaching Assistant]や RA[Research Assistant]の制度化
	(4) FD[Faculty Development]活動への取組み

<2016 年度事業計画>

- (1) 1 年間で学位を取得させる規定に基づく具体的な制度の検討（優れた業績をあげた者を対象とする）
 - ・1 年間で学位を取得する制度を実施している他大学の具体的な制度に関する情報を収集する。
 - ・1 年間で学位を取得する制度を実施する上で、取組むべき課題についての検討を行う。
- (2) 研究倫理教育の充実
 - ・関係部署間で協議し、今後の取組み計画について検討を行う。
 - ・大学院において「研究倫理教育」を実施する際の課題について検討を行う。
- (3) TA や RA の制度化
 - ・関係部署間で協議し、今後の取組み計画について検討を行う。

- ・大学院で TA や RA 制度を実施していく上での課題について検討を行う。

(4) FD 活動への取組み

- ・大学院における FD 活動について、有効な取組みを実施している他大学の情報を収集する。
- ・大学院の FD 活動に取組んで行く上での課題について検討を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
履修制度の拡大	他大学院及び他研究科の科目を履修できる制度の拡大

<2016 年度事業計画>

- ・他大学院及び他研究科の科目を履修できる制度を実施している他大学の情報を収集する。
- ・他大学院及び他研究科の科目を履修する制度を拡大する上で、取組むべき課題について検討を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
就職支援の充実	(1) 大学院生向け就職支援体制の充実
	(2) キャリア形成支援への取組み

<2016 年度事業計画>

- (1) 大学院生向け就職支援体制の充実
 - ・関係部署間で協議し、大学院生向け就職支援体制の取組み計画についての検討を行う。
- (2) キャリア形成支援への取組み
 - ・関係部署間で協議し、大学院生のキャリア形成支援の取組み計画についての検討を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
学生支援の充実	(1) 大学院生への研究費支援
	(2) 給付奨学金制度の充実

<2016 年度事業計画>

- (1) 大学院生への研究費支援
 - ・大学院生への研究費支援制度を実施している他大学の情報を収集する。
 - ・大学院生への研究費支援制度を実施する上での課題について検討を行う。
- (2) 給付奨学金制度の充実
 - ・大学院生への奨学金制度について、効果的な制度を実施している他大学の情報を収集する。
 - ・大学院における奨学金制度の充実に向けた取組みについて検討を行う。

3. 国際感覚：異文化を受容し、行動できる国際性の修得

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
海外の大学院や外国人留学生との連携促進	(1) 外国人留学生の受入れ促進
	(2) 海外留学や国際的学術交流の活性化

<2016 年度事業計画>

- (1) 外国人留学生の受入れ促進

- ・大学院に外国人留学生を多く入学させている他大学の入試制度や入学後の支援体制に関する情報を収集する。
 - ・大学院外国人入試や留学生の修学支援における課題について検討を行う。
- (2) 海外留学や国際的学术交流の活性化
- ・大学院レベルで海外留学や国際的学术交流を活発に実施している他大学の情報を収集する。

4. 地域貢献：進化する福岡とともに歩む学院としての自覚と協働

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
地域ニーズへの対応	(1) 臨床心理センターによる地域貢献
	(2) 社会人学生の受入れ促進

<2016 年度事業計画>

- (1) 臨床心理センターによる地域貢献
- ・相談件数が多い臨床心理センターを設置している他大学の状況を参考にして、どのように学外への案内を強化すべきかを検討する。
- (2) 社会人学生の受入れ促進
- ・社会人の大学院生を多く入学させている他大学の入試制度や入学後の支援体制に関する情報を収集する。
 - ・大学院社会人入試や社会人の修学支援における取組みについて検討を行う。

5. 経営基盤：永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
志願者獲得による定員充足	(1) 入試広報の強化
	(2) 本学学部からの進学促進

<2016 年度事業計画>

- (1) 入試広報の強化
- ・定員充足率の高い人文・社会科学系大学院を設置している他大学の学生募集の効果的な広報活動に関する情報を収集する。
 - ・大学院入試の効果的な広報活動の取組みについて検討を行う。
- (2) 本学学部からの進学促進
- ・大学院への進学説明会や大学院オープンキャンパスの実施内容や案内方法を充実させる取組みについて検討を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
補助金の獲得	補助金（私学事業団の経常費補助金等）獲得の強化

<2016 年度事業計画>

- ・補助金受給額が増加する方法についての調査・検討を行うとともに、適正な補助金申請業務となるように取り組む。

Ⅷ. 西南学院法科大学院事業計画

1. 人間育成：キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
博愛と奉仕の精神を兼ね備えた法曹の育成	キリスト教に接する機会を増やす。

<2016 年度事業計画>

- ・関係部署間で協議し、今後どのような取組みが可能であるか検討を行う。(東キャンパスでのチャペル放送等)

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
「教育理念」及び「養成する人材（法曹像）」の周知	「教育理念」及び「養成する人材」について、入学志願者を含めた社会全体に周知するために、入学案内パンフレット及び法科大学院 HP に詳細に記載する。

<2016 年度事業計画>

- ・現在、入学案内パンフレット及び法科大学院ホームページに「教育理念」及び「養成する人材」を掲載しているが、これ以外の効果的な周知方法がないか、また、広告媒体（新聞、大学院ガイド等）の内容について再検討を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
「養成する人材（法曹像）」の理解の促進	(1) 現役法曹を招いて開催している「法曹像を考える講演会」を継続的に実施する。養成する人材に合致するテーマの設定や講師の人選において、さらなる改善や工夫を図る。
	(2) 福岡県手話通訳士会と連携し「刑事模擬裁判」及び「民事模擬裁判」に手話通訳士が参加する取組みを定着させる。

<2016 年度事業計画>

- (1) 現役法曹を招いて開催している「法曹像を考える講演会」を継続的に実施する。養成する人材に合致するテーマの設定や講師の人選において、さらなる改善や工夫を図る。
 - ・2015 年度の「法曹像を考える講演会」の講師を、キリスト教主義のホスピスの医師に担当していただき、充実した講演会となったため、次回以降の講演会に備え事前に数名の候補者をリストアップする。
 - ・宗教部事務室または宗教委員に、今年度のチャペル講和担当者の中に、適した方がいないかヒアリングを行う。
- (2) 福岡県手話通訳士会と連携し「刑事模擬裁判」及び「民事模擬裁判」に手話通訳士が参加する取組みを定着させる。
 - ・2016 年度も継続して「刑事模擬裁判」及び「民事模擬裁判」の授業を開講し、福岡県手話通訳士会と連携し手話通訳士が参加する取組みを実施することにより、手話通訳士育成による社会貢献と、障がい者への配慮を身につけた法曹を養成する。

2. 教育研究：確かな保育・教育力と新たな知と価値の創造

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
「本学法科大学院の『養成する人材（法曹像）』と教育システムの概要」の見直し	毎年1回は、法科大学院教授会で「本学法科大学院の『養成する人材』と教育システムの概要」について、再確認・議論する時間を設ける。

<2016年度事業計画>

- ・「本学法科大学院の『養成する人材』と教育システムの概要」について、法科大学院執行部で修正の必要があるか検討を行う。修正が必要な場合は、所定会議で審議するための修正原稿を作成する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
教育の充実	(1) 法学部との連携を促進する。
	(2) TA[Teaching Assistant]及びチューター制度の充実を図る。
	(3) 進級・修了判定及び在学年限の再検討を行う。
	(4) TA及びチューターに対して、本学の教育理念・目標について理解を促す（共通認識を持つ）取組みを行う。

<2016年度事業計画>

- (1) 法学部との連携を促進する。
 - ・法学部との連携による法曹育成のための授業科目である『応用法律学』に該当する「弁護士実務から見た法学」「応用法律学(法の理論と実務)」「応用法律学(刑事法)」「応用法律学(公法)」「応用法律学(民事法Ⅰ)」「応用法律学(民事法Ⅱ)」「刑事模擬裁判」及び「民事模擬裁判」を開講して、学部生に対する早期教育による法科大学院の志願者拡充に繋げ、法学部との連携を促進する。
- (2) TA及びチューター制度の充実を図る。
 - ・TA及びチューター制度の効率的で有効な運用方法について検討を行う。チューターについては、チューター（勉強会）を承認するにあたり、各勉強会の責任者学生とTA・チューター委員が集まる機会を設定しそれぞれ意見交換を行うことで、勉強会の選択及び集中を図る。
- (3) 進級・修了判定及び在学年限の再検討を行う。
 - ・現状の進級・修了判定及び在学年限について、改正の必要性の有無を検討する。必要に応じて、他大学の進級・修了判定及び在学年限の情報を収集する。
- (4) TA及びチューターに対して、本学の教育理念・目標について理解を促す（共通認識を持つ）取組みを行う。
 - ・TAには、それぞれ担当科目の教員が本学の教育理念・目標について説明する。チューターには、法科大学院教授会が作成をした「養成する人材と教育システム」の資料を配布し本学の教育理念・目標について理解を深めていただく。

3. 国際感覚：異文化を受容し、行動できる国際性の修得

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
国際性を兼ね備えた法曹の育成	国際法系科目を学ぶ動機付け等を履修ガイダンス等で実施する。

<2016年度事業計画>

- ・国際法系科目を学ぶ動機付けを、履修ガイダンス等でどのように行ったら効果的かについて検討を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
国際化する社会で法曹に期待される役割や能力等を考える契機となり、かかる問題に適切に対処する能力を養う機会の設定	日本社会自体の国際化に伴って出現している問題への理解を深める企画を実施する。

<2016 年度事業計画>

- ・国際化に伴って生じる問題（海外企業の日本での活動、日本国内での外国人の権利保護等）について、院生にとって有効なテーマ、講演を実施してもらえらる講師をリストアップする。

4. 地域貢献：進化する福岡とともに歩む学院としての自覚と協働

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
地域の法曹ニーズへの対応	弁護士法人コイノニアの利用を促進する。

<2016 年度事業計画>

- ・法科大学院棟の中にある法律事務所「弁護士法人コイノニア」の利用を促進するために、学外に向けたコイノニアの効果的な紹介方法について、検討を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
福岡県弁護士会への協力	福岡県弁護士会が法普及のために実施している「ジュニアロースクール」及び法学未修者を対象とした出前講座を通じて地域貢献する。

<2016 年度事業計画>

- ・福岡県弁護士会が主催する「ジュニアロースクール」の実施に協力する。また、福岡県弁護士会から講師を派遣してもらい実施している法学未修者を対象とした出前講座を開催する。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
本学法科大学院主催の法教育の実施	エクステンション課と連携し、本学法科大学院教員による公開講座を開講する。

<2016 年度事業計画>

- ・法科大学院教授会で公開講座の提供について検討を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
学外組織との連携	子どもプラザや福岡県手話通訳士会と連携する。

<2016 年度事業計画>

- ・子どもプラザや福岡県手話通訳士会と連携し、今後の取組みについての具体的な検討を行う。

5. 経営基盤：永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
志願者獲得による定員充足	(1) 法学部（内部進学者）からの進学を促進する。
	(2) 法学部以外からの進学を促進する。
	(3) 法科大学院を設置していない大学（法学部あり）における進学説明会を拡充する。

<2016 年度事業計画>

- (1) 法学部（内部進学者）からの進学を促進する。
 - ・法学部と連携して法科大学院で開講している「応用法律学」に出席している法学部生へ法科大学院への進学についての案内を行う。また、学内で進学説明会を複数回実施して、本学部生への案内を行う。
- (2) 法学部以外からの進学を促進する。
 - ・現在実施している「8月試験や2月試験の法学未修者入試」「他学部、社会人入試」「適性第4部利用入試」等の入試制度の見直しを行う。
- (3) 法科大学院を設置していない大学（法学部あり）における進学説明会を拡充する。
 - ・現在進学相談会を開催している他大学の他に、法学部があり法科大学院を設置していない大学で、進学説明会を実施できる大学を調査する。また、進学説明会の内容についても検討を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
補助金（特別補助／法科大学院支援経費）の獲得	(1) 公的支援見直し加算プログラムに申請する。
	(2) 学内非常勤講師を増加する（法学部との連携）。

<2016 年度事業計画>

- (1) 公的支援見直し加算プログラムに申請する。
 - ・公的支援見直し加算プログラムに申請する内容について検討を行い、申請業務について取組む。
- (2) 学内非常勤講師を増加する（法学部との連携）。
 - ・経常費補助金特別補助法科大学院支援経費は、学外非常勤は支援の対象とならないが、学内非常勤講師は支援の対象となるため、現在学外非常勤が担当している授業科目のうち、学内非常勤（学部の教員）が担当できる科目について検討を行う。

ビジョン実現に向けた課題	アクションプラン
西南法曹会との連携強化	法曹会勉強会及び寄付金等における連携を強化する。

<2016 年度事業計画>

- ・西南法曹会との連携を強化し、派遣弁護士による法科大学院教育への支援強化とともに、奨学金の支給に充てる寄付金を獲得できるよう働きかけを継続して行う。

以上

所在地

学校法人西南学院及び西南学院大学（大学院及び法科大学院を含む）

〒814-8511 福岡市早良区西新六丁目 2 番 92 号 電話 092-823-3201

学校法人 <http://www.seinan-gakuin.jp/>

大 学 <http://www.seinan-gu.ac.jp/>

西南学院早緑子供の園

〒810-0053 福岡市中央区鳥飼一丁目 6 番 5 号 電話 092-761-3408

<http://www.seinan-gu.ac.jp/hoikuen/>

西南学院舞鶴幼稚園

〒810-0053 福岡市中央区鳥飼一丁目 6 番 1 号 電話 092-751-6650

<http://www.seinan-gu.ac.jp/youchien/>

西南学院小学校

〒814-8513 福岡市早良区百道浜一丁目 1 番 2 号 電話 092-841-1600

<http://www.seinan.ed.jp/es/>

西南学院中学校・高等学校

〒814-8512 福岡市早良区百道浜一丁目 1 番 1 号 電話 092-841-1317

<http://www.seinan.ed.jp/hs/>

一粒の麦から、次の100年に向かって



Thanks and Next!
since 1916

西南学院